

令和元年東日本台風に伴う災害助成事業(遊水地)について

地元区民説明会



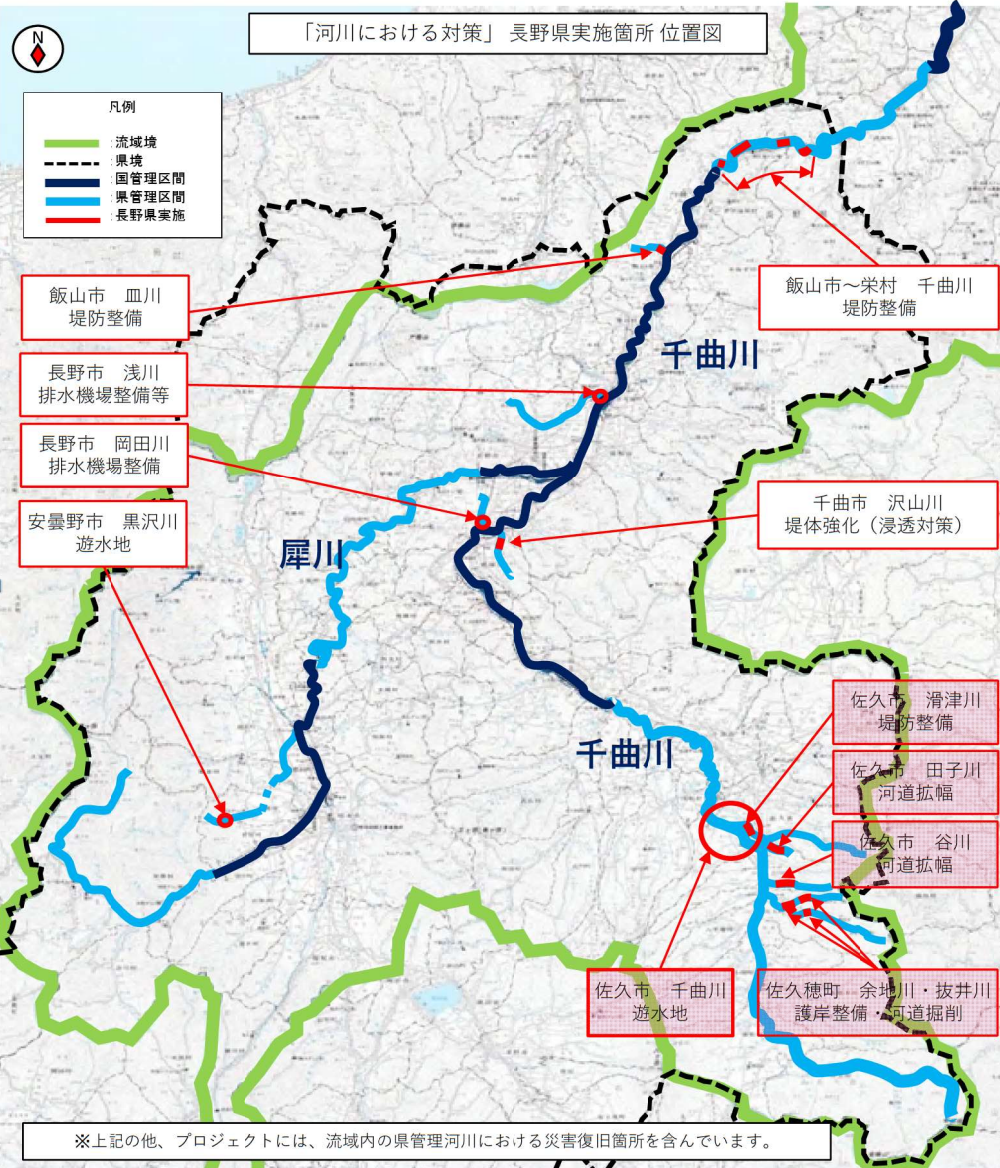
令和2年12月

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」における長野県の対応について

長野県として取り組む対策内容

令和2年2月6日 長野県建設部プレスリリース

①河川における対策(治水対策の推進)、②流域における対策(浸水被害軽減対策の推進)、③まちづくり・ソフト対策(減殺に向けた取組みの推進)の3つの取組を、令和元年度から令和6年度までの概ね5年間で連携して推進していきます。(一)千曲川の上流域にあたる佐久地域においては、本川の護岸整備、遊水地設置をはじめ、各支川の堤防整備、河道拡幅などに着手、早期完成を目指してまいります。



○令和元年10月台風第19号により、甚大な被害が発生した信濃川水系において、国、県(新潟県、長野県)、流域市町村が連携して取り組む施策を、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として取りまとめた。

○国、県、市町村が連携し、以下の取組を実施していくことで、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
- ③減災に向けた更なる取組の推進【まちづくり・ソフト対策】

このうち、県が国、市町村と連携して取り組む内容は以下のとおりです

① 河川における対策

全体事業費 約 500 億円 ※災害復旧事業を含めた、現時点で想定している県の事業費です

事業期間 令和元年度から令和6年度(概ね5年間)

目 標 観測史上最大洪水となった令和元年10月台風第19号出水に対し、概ね5年で
・千曲川本川では越水等による家屋部の浸水を防止
・田子川、谷川、浅川などの支川において家屋部の浸水を防止又は軽減

対策内容 護岸整備、河道掘削、河道拡幅、堤防整備、堤防強化、遊水地、排水機場整備 等

② 流域における対策

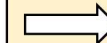
- ・ため池等の既存施設の補強や有効活用
- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設の整備
- ・排水ポンプ車等の整備 等

③ まちづくり・ソフト対策

- ・災害の危険度が伝わるきめ細かな情報発信
- ・水位計、監視カメラ等の整備によるリアルタイム情報の発信
- ・浸水想定区域図の作成による浸水リスク情報の周知
- ・防災教育や防災知識の普及
- ・要配慮者利用施設の避難に関する取組 等

長野県では独自に検討委員会を立ち上げ、②流域対策、③まちづくり・ソフト対策について 県・市町村による取組を推進

長野県流域・ソフト対策検討委員会
・事業の掘り起こし
・取組メニューの作成



「大規模氾濫減災協議会」を通じて
県・市町村による取組を推進

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」における長野県佐久地域の対応について

佐久地域として取り組む対策内容

○河川における対策（治水対策の推進）・・・令和元年度から令和6年度までの概ね5年間

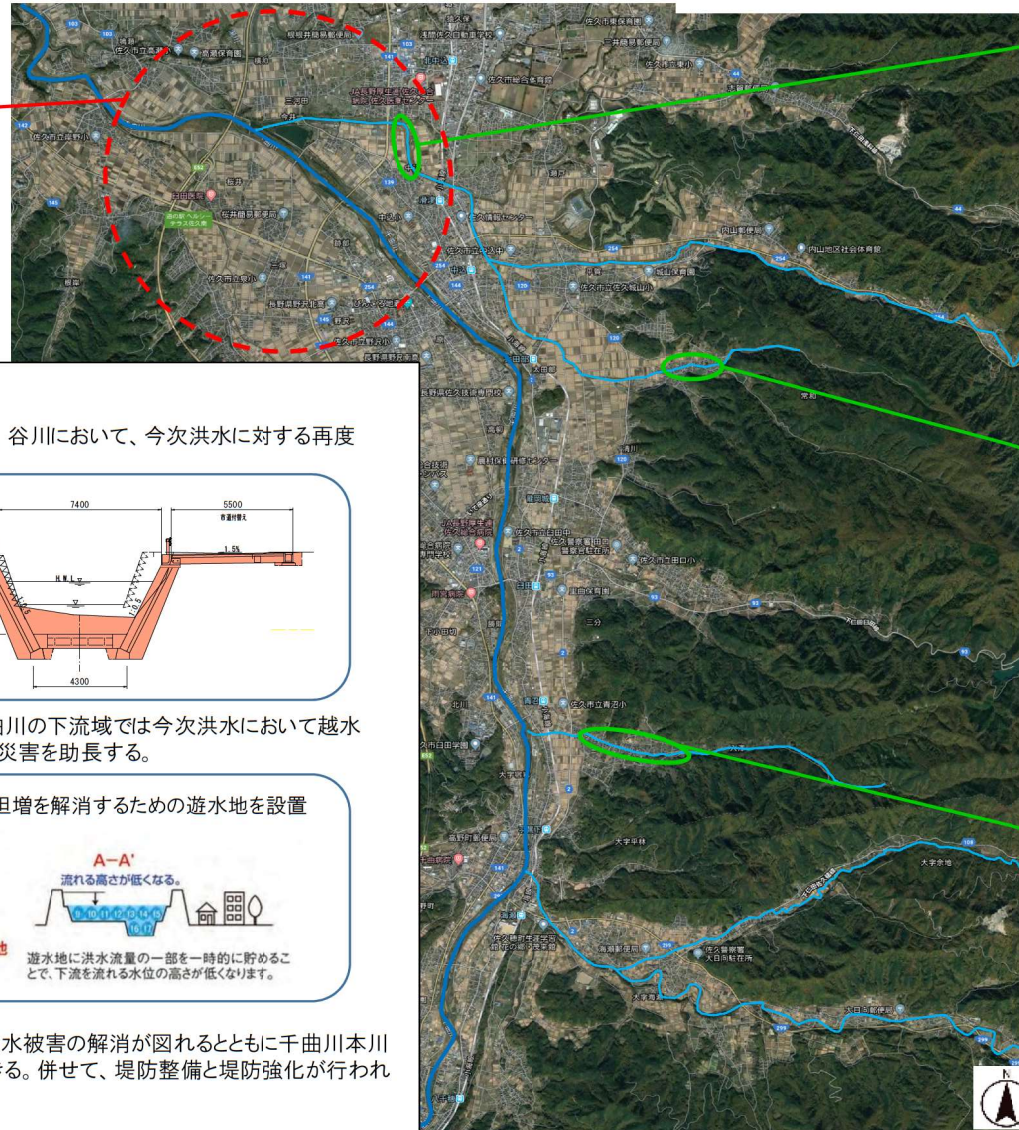
（一）千曲川の上流域にあたる佐久地域においては、本川の護岸整備、遊水地設置をはじめ、各支川の堤防整備、河道拡幅などに着手し、早期完成を目指してまいります。・・・災害復旧事業、災害助成事業、災害関連事業

災害助成事業の概要

災害助成事業（遊水地設置）
 (一) 千曲川 佐久市
 ○遊水地の適地の選定

遊水地の選定(①→②→③)

- ①遊水地とすることが可能な地形条件
- ②現況土地利用状況
- ③確保可能容量の大きさ



災害助成事業（河道拡幅）
 (一) 滑津川 佐久市石神
 ○工事施工中

(一) 滑津川 佐久市石神



災害助成事業（河道拡幅）
 (一) 田子川 佐久市常和
 ○本工事中、用地取得交渉中

(一) 田子川 佐久市常和



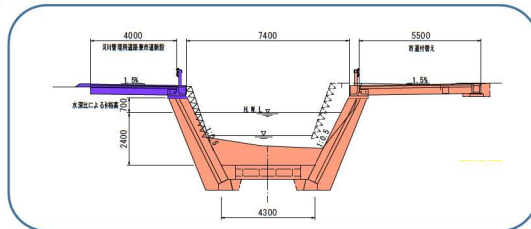
災害助成事業（河道拡幅）
 (一) 谷川 佐久市入沢
 ○本工事中、用地取得交渉中

(一) 谷川 佐久市入沢



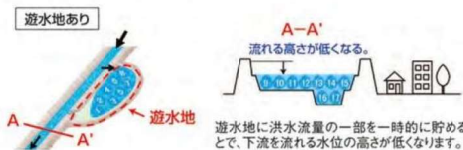
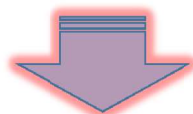
[災害助成事業の整備方針]

- 堤防の決壊や溢水による浸水被害の生じた滑津川、田子川、谷川において、今次洪水に対する再度災害防止を図る河道拡幅が必要となる。



- 3河川の河道拡幅には千曲川本川への負担増が伴うが、千曲川の下流域では今次洪水において越水破堤による大規模な浸水被害が発生しており、負担増は再度災害を助長する。

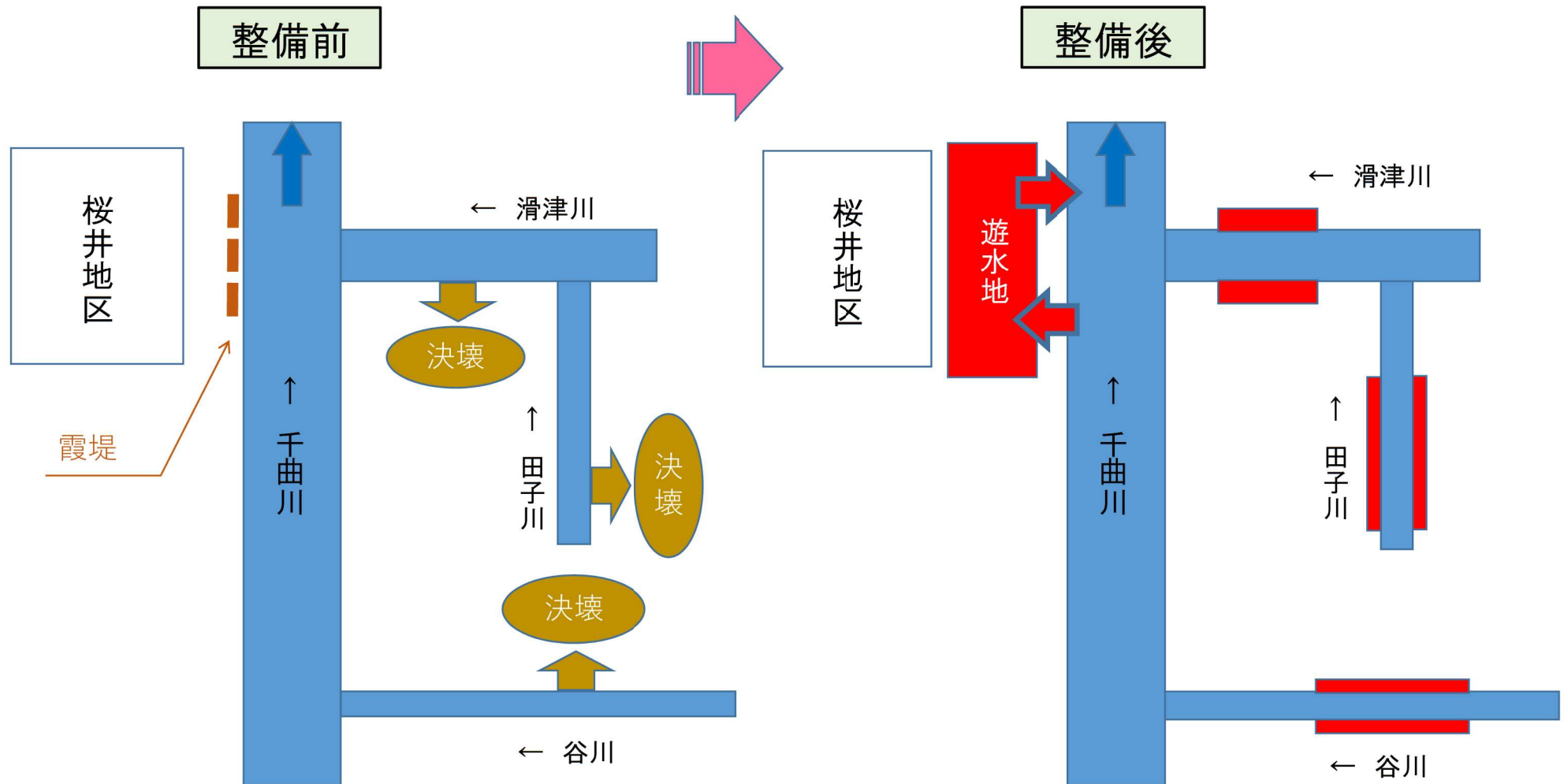
(一)千曲川本川への負担増を解消するための遊水地を設置



◎遊水池の設置により、3河川の改良復旧が実施可能となり、浸水被害の解消が図れるとともに千曲川本川の水位上昇を低減させ、下流域への負担増を無くすことができます。併せて、堤防整備と堤防強化が行われ遊水地設置地区の治水安全度を高めます。

佐久地域における遊水地の必要性について(概念図)

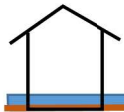
滑津川、田子川、谷川の改良復旧工事により増えた流量を貯留する遊水地を設置する。
 これにより下流域への負担が軽減されることで治水安全度を高め、合わせて桜井地区の脆弱な堤防区間が解消され安全性の向上となります。



佐久地域における遊水地の必要性について(イメージ図)

遊水地なし

桜井地区



既設堤防 (霞堤)

千曲川



滑津川、田子川、谷川の改良復旧工事により増えた流量を貯留する遊水地を設置する。
これにより下流域への負担が軽減されることで治水安全度を高め、
合わせて桜井地区の脆弱な堤防区間が解消され安全性の向上となります。

遊水地あり

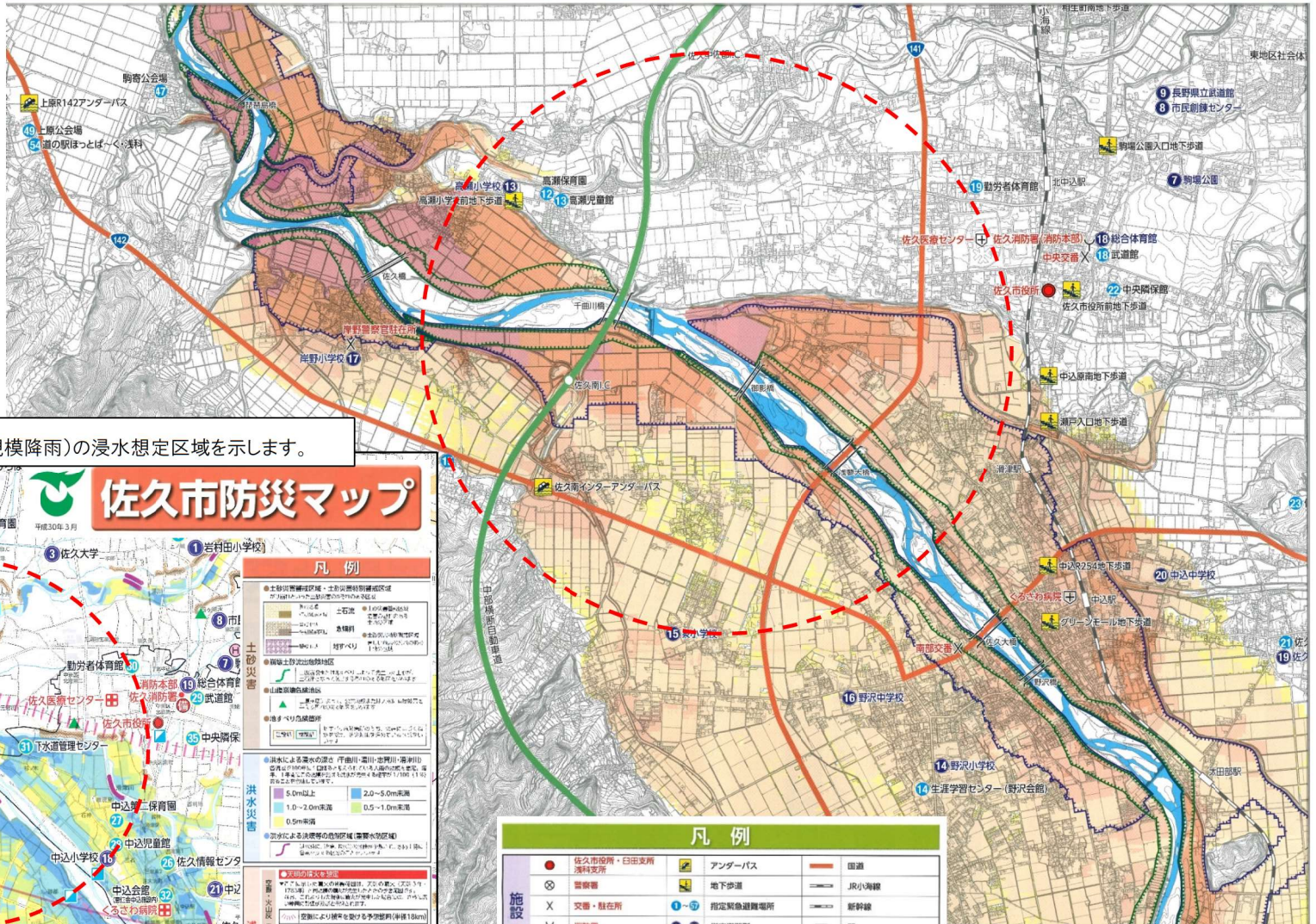
桜井地区



遊水地

千曲川

佐久市 千曲川 洪水ハザードマップ 想定最大規模降雨 (1,000年確率)



この図の洪水災害は「100年に1度」(計画規模降雨)の浸水想定区域を示します。



凡例

| | | |
|--------------|----------|-------|
| ● 佐久市役所・日田支所 | アングラーバス | 国道 |
| ● 浅科支所 | 地下歩道 | JR小海線 |
| ● 警察署 | 指定緊急避難場所 | 新幹線 |
| ● X 交番・駐在所 | 指定避難所 | 駅 |
| ● Y 消防署 | 指定避難所 | 市町村境 |
| ● 病院 | 高速道路 | |

家屋倒壊等氾濫想定区域
想定最大規模降雨(計画規模降雨)による、河川が氾濫し、流出する等の危険性が高い区域です。洪水発生時に河川から離れた場所へ、早めの避難を心がける必要があります。なお、家屋の倒壊の恐れがないと見做していません。あくまでも目安であることに留意してください。

浸水想定区域(計画的)
河川が氾濫した際に、本流側が氾濫・流出する恐れがある区域

家屋倒壊危険区域(河川側)
強い川の流れにより、河岸が浸食され、家屋が倒壊・流出する恐れがある区域

浸水想定の高さと目安

| | |
|-----------|-----------|
| 20m以上 | 5m以上 |
| 10m~20m未満 | 3m~5m未満 |
| 5m~10m未満 | 0.5m~3m未満 |
| 3m~5m未満 | 0.5m未満 |

凡例
「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」で示された遊水地の検討エリア

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」における長野県の対応について(2020.8 vol.4)

長野県佐久建設事務所・佐久市

遊水地設置場所の選定のための測量立ち入りのお願い

令和元年10月に発生した台風19号災害により佐久建設事務所管内では、多くの水害が発生しました。当地域の災害復旧と再度災害防止を図るため、災害助成事業を実施いたします。

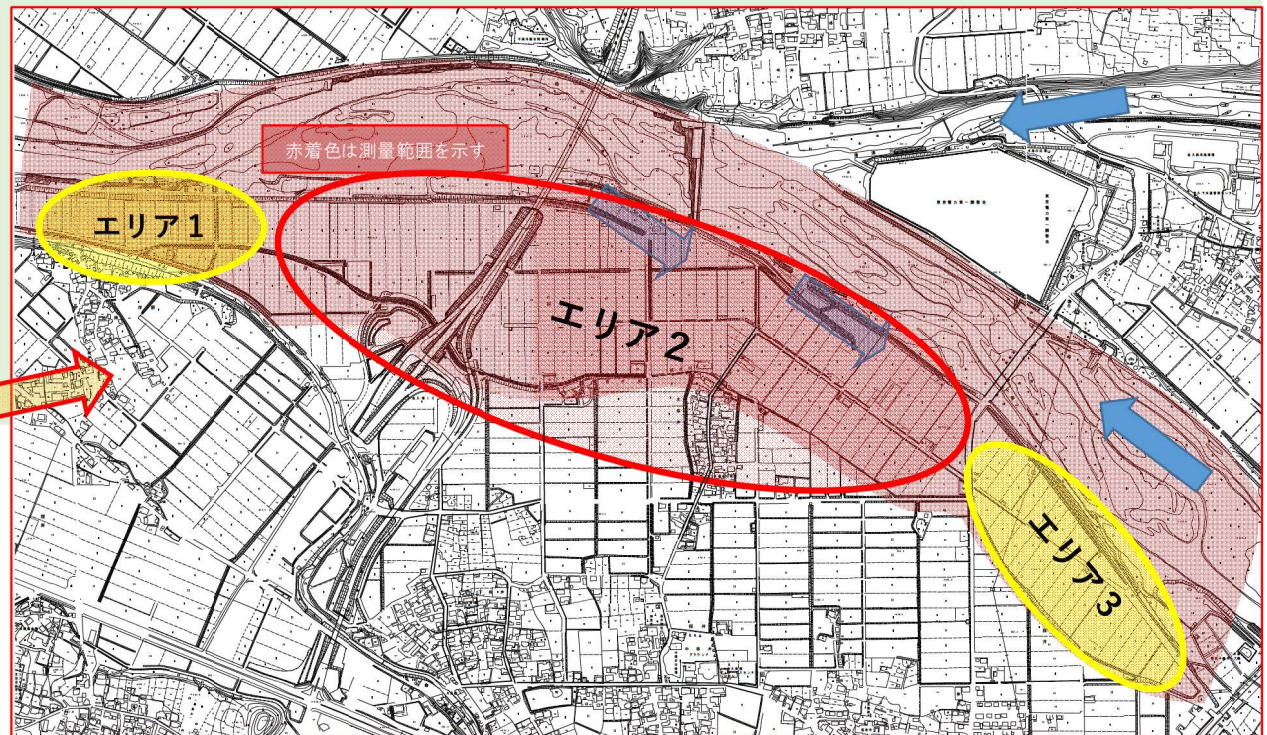
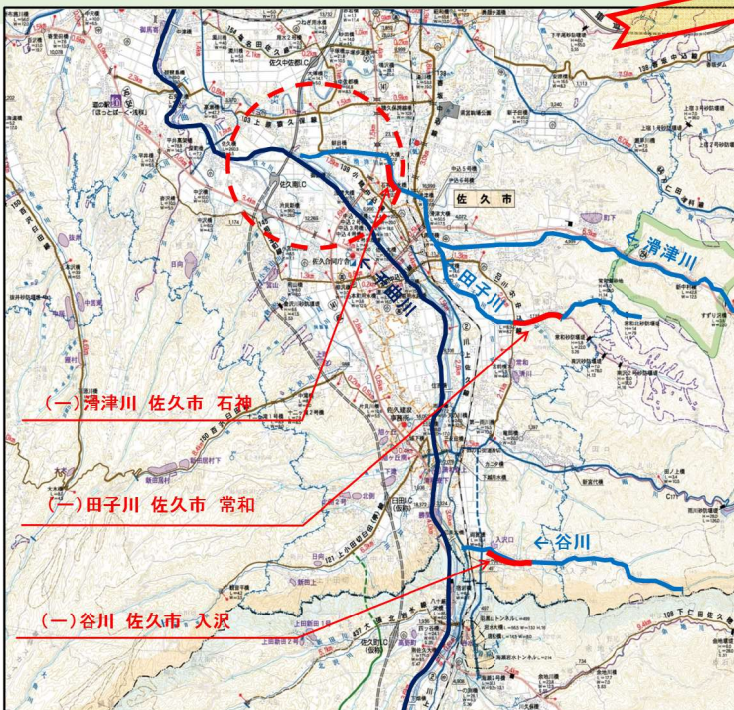
【災害助成事業の整備方針】

- 堤防の決壊や溢水による浸水被害の生じた滑津川、田子川、谷川において、今次洪水に対する再度災害防止を図る河道拡幅が必要となる。
- 3河川の河道拡幅には千曲川本川への負担増が伴うが、千曲川の下流域では今次洪水において越水破堤による大規模な浸水被害が発生しており、負担増は再度災害を助長する。
↓ <(-)千曲川本川への負担増を解消するための遊水地を設置>
- ◎遊水池の設置により、3河川の改良復旧が実施可能となり、浸水被害の解消が図れるとともに千曲川本川の水位上昇を低減させ、下流域への負担増を無くすることができる。併せて、堤防整備と堤防強化が行われ遊水地設置地区の治水安全度を高めます。

遊水地設置場所の選定(下線部分は実施済み)

- ①遊水地とすることが可能な地形条件
(地形図及び浸水想定区域図等で机上調査)
↓
- ②現況土地利用状況(航空写真及び現地踏査)
↓
- ③確保可能容量の大きさ(地形測量)

地形測量を、右図の赤着色範囲において実施いたします。
右下の業者が、航空機を使い上空から航空測量を行います。水路などの構造物などは現地で補足測量を実施しなければなりません。
民地に測量のための立ち入りする場合がありますが、上記の事業の趣旨をご理解いただき、立ち入りの際はご協力をお願いします。



【測量実施時期】

令和2年9月15日から令和3年2月11日までの間

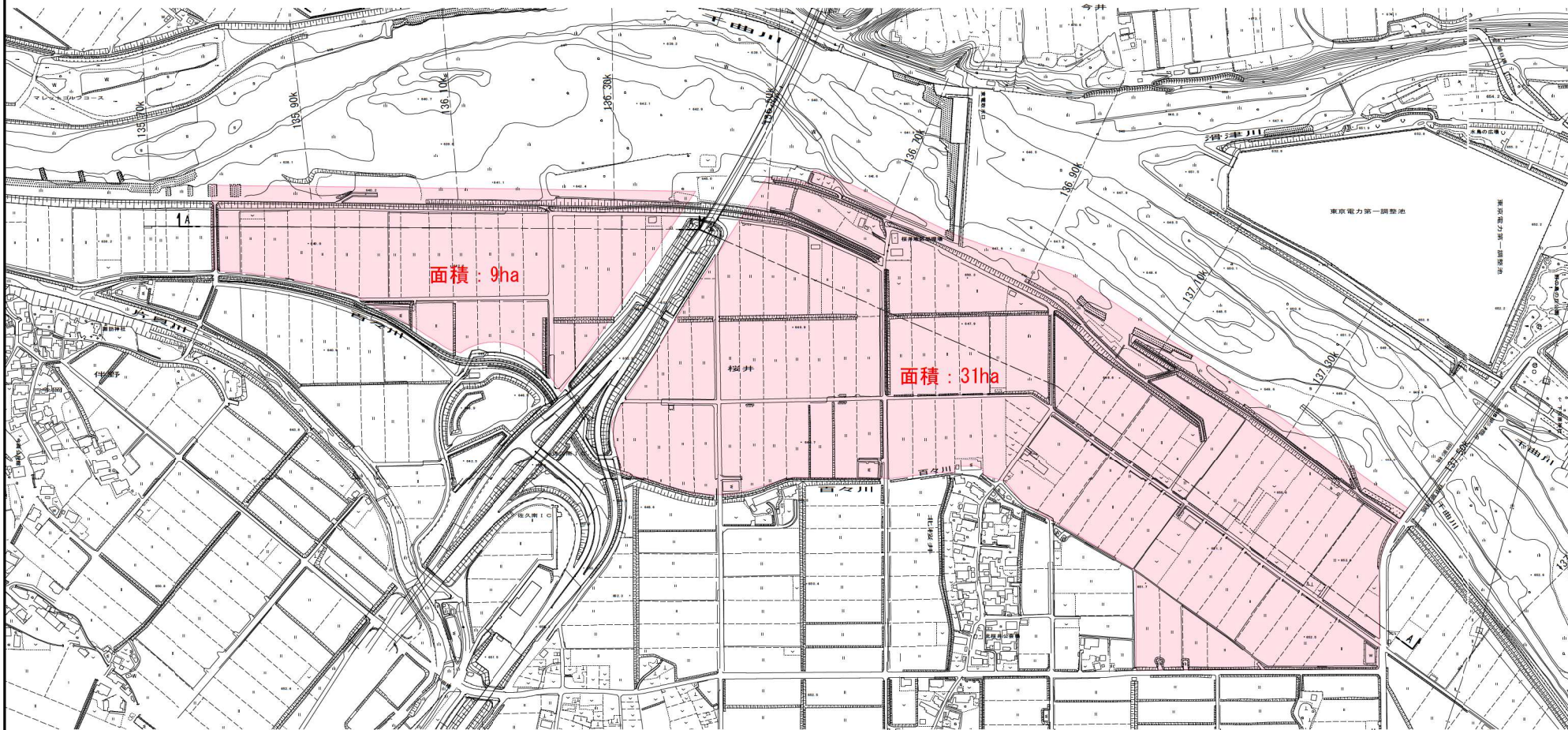
【測量内容】

航空機による航空測量(補足測量として現地での測量も実施)

【測量業者】

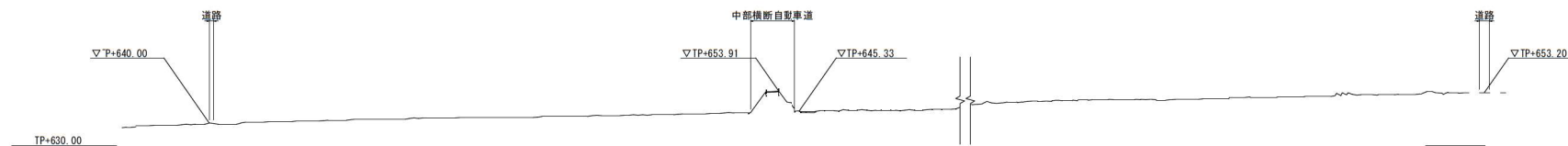
委託会社:(株)協同測量社 担当: 清水 太郎 連絡先:026(226)5691

佐久建設事務所発行の証明書を携帯して実施します。



断面図 SV=1:1,000 SH=1:2,500

A-A



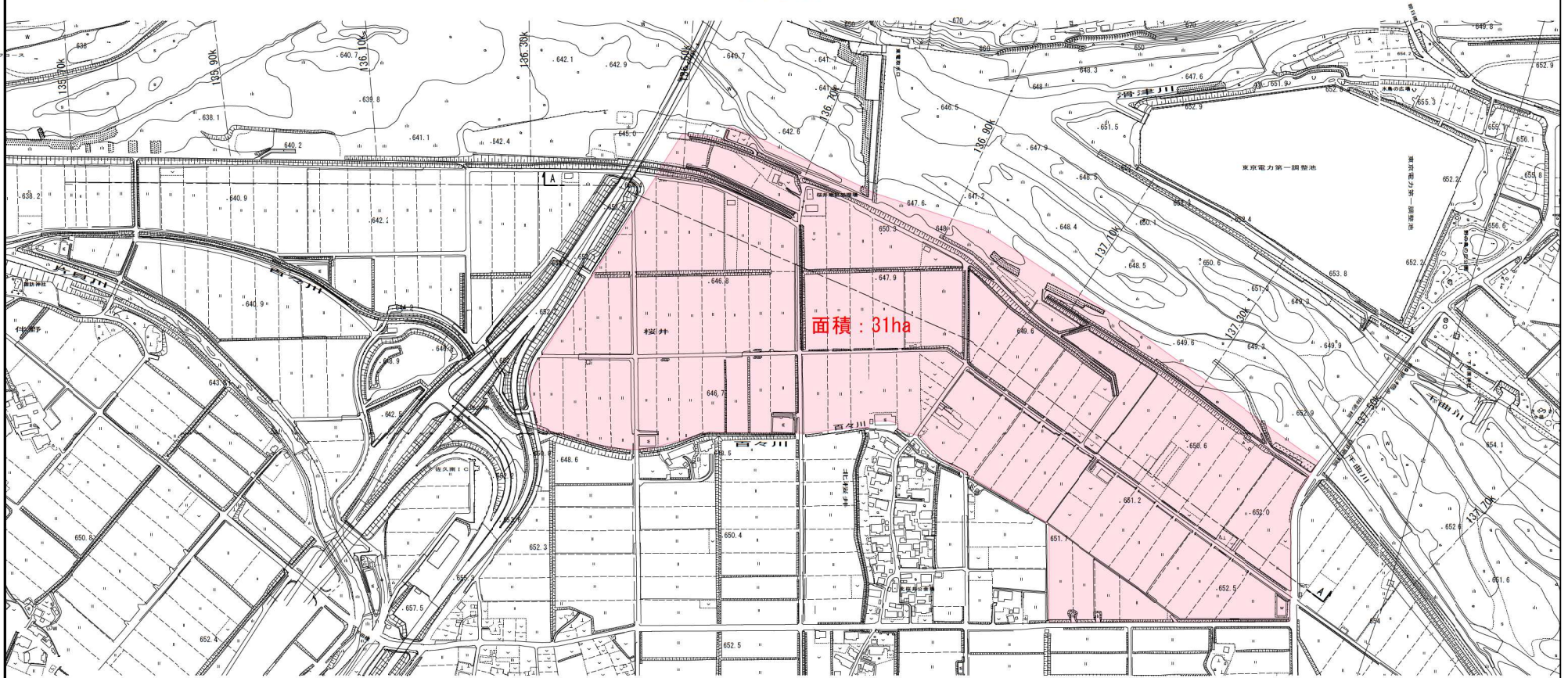
中部横断自動車道の下流側遊水地と上流側遊水地とを接続をする大型横断構造物の施工の難易度が高く、また費用対効果が(2)案より低い

遊水地の範囲について

佐久遊水地範囲検討案（2）

平面図

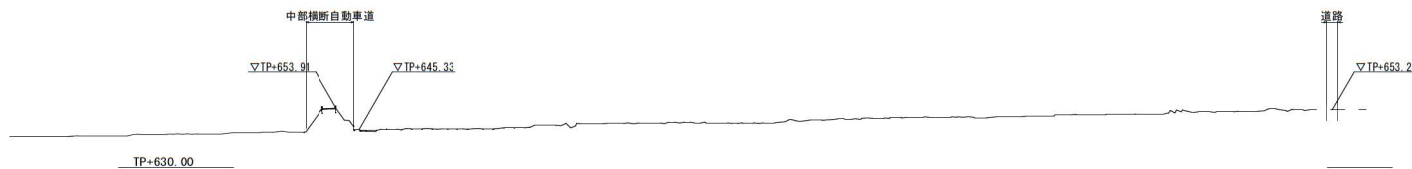
S:1:2,500



縦断面図

SV:1:1,000 SH:1:2,500

A-A



中部横断自動車道の上流側遊水地の範囲を掘削して容量を確保する。用地買収を伴うが費用対効果は(1)より高い。